

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	06-01-17-02
事務事業名	一時借入事務	根拠法令・要綱等	地方自治法
事業開始年度	平成17年度～	問合せ先	出納室
大項目	健全で自立したまちづくり	担当課(室)	出納室
中項目	簡潔で効率的な財政運営	職・氏名	出納係長 田淵美保子
小項目	施策	電話	0869-64-1801

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	備前市(団体)(一般会計)
目的(何のために)	備前市の資金繰りを実施する。
行政活動(どのような方法で)	金融機関等から一時借入事務をおこなう。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	できるだけ一時借入金がない会計事務を目標としつつ、円滑な資金繰りを行うため、一時借入事務を行う。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	一時借入金額	億円	10	0	12
	直接事業費	千円	680	0	713
	人件費	千円	1,460	1,595	1,018
	事業費計	千円	2,140	1,595	1,731
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	市一般財源	千円	2,140	1,595	1,731
	必要人員	人	0.15	0.15	0.10
	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
一時借入金額	説明	一年間の一時借入金額			
結果指標	結果指標量	億円	10	0	12
	対前年比	%	-	0.0%	
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			
結果指標	事業費	説明	一年間の事業費		
	結果指標量	円	2,140	1,595	1,731
	対前年比	%			
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	一時借入金利息支払額	式又は説明	一時借入金の利息の支払額(目標値・到達年度ともに設定できない。できるだけ、利息は0が望ましい。)
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	680	0	713
対前年比		0.00%	
到達目標値		到達目標年度	-

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	A
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	本市の歳計現金の不足を一時的に補うため、一時借入を行うための事務であり、その必要性の意味から、絶対に必要なものである。	
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	常に歳計現金の現状を把握しつつ、業務を行う必要があり、業務量やその費用にはコスト削減に関する余地は少ない。	
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
職	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は前年度より向上している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	主に短期間の借入を行うものであり、各金融機関等の金利を確認のうえ、利子の支払いができるだけ少ない金融機関から借入を行う必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度			
<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している			
<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している			
<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			
<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		説明	各課に適切な予算執行につとめるよう求めるとともに、歳計現金の現状を把握しながら、必要な場合は一時借入業務を行う。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	結果指標量	
	成果指標量		

総合評価		評価区分<A-E>	B
市の歳計現金の適切な運用を行う業務であり、今後も現事業を継続して実施する必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果